

5

令和 6 年 度
東 濃 西 部 広 域 行 政 事 務 組 合
一 般 会 計 、 特 別 会 計 歳 入 歳 出
決 算 審 査 意 見 書

東 濃 西 部 広 域 行 政 事 務 組 合 監 査 委 員

1 審査日 令和7年6月27日（金曜日）

2 審査の対象

- (1) 令和6年度東濃西部少年センター事業特別会計歳入歳出決算
- (2) 令和6年度東濃西部広域行政事務組合一般会計歳入歳出決算
- (3) 令和6年度東濃西部ふるさと活性化基金特別会計歳入歳出決算
- (4) 令和6年度東濃看護専門学校事業特別会計歳入歳出決算
- (5) 令和6年度東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算
- (6) 令和6年度東濃西部看護師修学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算
- (7) 令和6年度東濃西部地域消費生活相談事業特別会計歳入歳出決算
- (8) 令和6年度東濃西部広域行政事務組合財産状況

3 審査の結果

審査に付された決算書に基づき、歳入歳出関係諸帳簿並びに証拠書類を照合した結果、決算計数は符合して誤りのないことを確認した。

4 決算の概要

令和6年度における当組合の7会計の決算総額は、歳入 292,397,705 円、歳出 283,371,090 円、歳入歳出差引額は 9,026,615 円。主歳入財源である各市負担金については、総合計が 178,376,000 円で、全体の 61.0%を占めている。

(1) 東濃西部少年センター事業特別会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

教育費負担金として 15,430,000 円が収入となっている。

第2款 繰越金

前年度繰越金として 1,779,273 円が収入となっている。

第3款 諸収入

雑入として、会計年度任用職員の雇用保険個人負担分 52,686 円が収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 教育費

歳出総額は 14,963,576 円で、主な支出は会計年度任用職員の人件費 10,279,075 円、少年指導員費用弁償 1,735,000 円である。

年度別の指導状況及び少年相談件数は次のとおりである。

年度	令和5年度	令和6年度	比較
活動回数 (回)	370	359	-11
活動人員 (人)	1,541	1,491	-50
指導人数 (人)	2	0	-2
電話相談 (件)	15 〈15〉	18 〈18〉	3

面接相談 (件)	11 〈11〉	13 〈13〉	2
メール相談 (件)	3 〈3〉	1 〈1〉	-2

※ 〈 〉 内は相談人数を表す。

(2) 東濃西部広域行政事務組合一般会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

一般経費負担金として 38,607,000 円が収入となっている。

第2款 使用料及び手数料

畜犬登録手数料、再登録手数料、注射済票交付手数料及び再交付手数料として 7,736,590 円が収入となっている。

第3款 繰入金

東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計からの繰入として、事務費に係る人件費相当分 346,000 円が収入となっている。

第4款 繰越金

前年度繰越金として 2,951,921 円が収入となっている。

第5款 諸収入

雑入として、会計年度任用職員の雇用保険個人負担分等 32,630 円となっている。

◎ 歳出について

第1款 議会費

当年度組合議会は、定例会 2 回が開催されている。主な支出は議員報酬の 114,000 円であった。

第2款 総務費

歳出総額は 38,708,887 円となっており、主な支出は一般管理費で、職員等の人件費 27,577,960 円となっている。

第3款 衛生費

歳出総額は 7,683,890 円となっており、主な支出は会計年度任用職員の人件費 2,903,504 円、畜犬管理システム保守委託料 237,600 円、3 市への畜犬登録事務交付金 2,818,721 円となっている。

(3) 東濃西部ふるさと活性化基金特別会計

◎ 歳入について

第2款 財産収入

ふるさと活性化基金の運用利息として 13,447,331 円が収入となっている。

4款 繰越金

前年度繰越金として 1,228,933 円が収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 総務費

歳出総額は 3,086,010 円となっており、主な支出は、広域だより印刷製本費

529,815 円、自主研修等の委託料 1,276,820 円、基金運用収入残余金への積立 1,228,000 円となっている。

また、令和 6 年度広域開催の自主研修の実施結果は次のとおりである。

研 修 内 容	対 象	受講者数
役職定年・定年延長職員研修	役職定年・定年延長職員	11 名
法制執務研修（基礎）	20 代後半～30 代職員	29 名
公文書作成講座	新規採用職員	38 名
法制執務研修（実務）	基礎編を受講した職員	19 名
オーナーシップ研修	主査及び係長	22 名

第 2 款 商工費

歳出総額は 23,739,800 円となっており、支出は、FM ピピへの広告料 712,800 円、委託料として観光パンフレット作成費に 4,749,000 円、観光案内図貼替業務に 278,000 円、国際陶磁器フェスティバルへの補助金 15,000,000 円、セラミックバレークラフトキャンプへの補助金 3,000,000 円となっている。

（４）東濃看護専門学校事業特別会計

◎ 歳入について

第 1 款 分担金及び負担金

衛生費負担金として 84,786,547 円が収入となっている。

第 2 款 使用料及び手数料

使用料及び手数料は 6,663,000 円となっている。

第 3 款 財産収入

財産収入は 0 円となっている。

第 5 款 繰越金

前年度繰越金として 1,000,000 円が収入となっている。

第 6 款 諸収入

諸収入は 2,973,526 円で、主な内訳は、教材実習費 1,110,000 円、施設整備協力金 1,800,000 円となっている。

◎ 歳出について

第 1 款 衛生費

歳出総額は 112,331,582 円となっており、主な支出は職員等の人件費 97,578,803 円。

（５）東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計

◎ 歳入について

第 1 款 分担金及び負担金

衛生費負担金として 26,800,000 円の収入となっている。

第5款 諸収入

医師確保奨学資金貸付金元利収入として34,102,411円の収入となっている。

第6款 繰越金

前年度繰越金として947円が収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 衛生費

歳出総額は60,902,251円で、主な支出は奨学生への貸付金26,400,000円、償還金・利子及び割引料として被貸付者の貸付金返還金34,102,411円となっている。

(6) 東濃西部看護師修学資金貸付事業特別会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

衛生費負担金として4,137,000円の収入となっている。

第3款 県支出金

岐阜県地域医療確保事業費補助金として2,682,000円の収入となっている。

第4款 諸収入

看護師修学資金貸付金元利収入として4,530,000円の収入となっている。

第5款 繰越金

前年度繰越金として2,724,349円が収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 衛生費

歳出総額は12,057,000円で、主な支出は修学生への貸付金5,544,000円、各市支出金過年度還付金6,498,000円となっている。

(7) 東濃西部地域消費生活相談事業特別会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

総務費負担金として8,616,000円の収入となっている。

第2款 県支出金

消費者行政活性化基金事業費補助金として1,701,749円の収入となっている。

第3款 繰入金

0円となっている。

第4款 諸収入

雑入として、会計年度任用職員の雇用保険個人負担分47,303円となっている。

第5款 繰越金

前年度繰越金として500,000円が収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 総務費

歳出総額は9,775,084円で、主な支出は会計年度任用職員の人件費9,246,278円、弁護士への謝礼金の報償費180,000円となっている。

(8) 東濃西部広域行政事務組合財産状況

1 土地及び建物

土地及び建物は前年度と同様、2,582.81 m²であった。

2 物品（車両のみ）

物品は前年度と同様、小型乗用車3台、軽乗用車1台、小型貨物車2台であった。

3 債権

① 医師確保奨学資金貸付金

令和5年度末現在高 664,730,000 円に 26,400,000 円を貸し付けたが、貸付元本 33,160,000 円の返還金と 4,800,000 円の償還免除額があったため、令和6年度末現在高は 653,170,000 円であった。

② 看護師修学資金貸付金

令和5年度末現在高 51,840,000 円に返還免除及び返還金合計 11,880,000 円を差引き、令和6年度末現在高は 39,960,000 円であった。

③ 看護師等確保修学資金貸付金

令和5年度末現在高 876,000 円に 1,764,000 円を貸付け、令和6年度末現在高は 2,640,000 円であった。

4 基金

① 東濃看護専門学校財政調整基金

本基金は、東濃看護専門学校施設の整備改善、災害若しくは事故により生じた経費の財源又はやむを得ない理由により生じた経費の財源に充てるために設置されたものである。

東濃看護専門学校閉校に向けた精算のため、全額繰り入れし令和6年度末現在高は0円である。

② ふるさと活性化基金

本基金は、東濃西部地域の振興整備の事業に資するため設置されたものである。

令和6年度末残高は 1,089,541,000 円である。

5 要望事項

要望事項は次のとおりであるので、今後はこれらの事項に留意し、事務に取り組んでいただきたい。

【東濃西部少年センター事業特別会計】

指導人数0は結構なことであり、声かけ活動自体が犯罪の抑止力、地域の安心感になっている。今後はより子どもと接する機会を増やし、こちらから出向くような取り組みをしてもらいたい。

【東濃西部広域行政事務組合一般会計】

畜犬登録数の数値は高い水準にある。死亡したまま届出がされていない畜犬の登録抹消の処理がされているが、基準が23才と長すぎるように思われるので経緯などを確認した上で、より早期の対応を検討してほしい。

【東濃西部ふるさと活性化基金特別会計】

観光パンフレットの作成などが行われているが、東濃全体が盛り上がるようなより具体的な企画に補助金を出すなどの取り組みを行ってほしい。

【東濃看護専門学校事業特別会計】

職員の再就職などの対応がなされ、無事に閉校できた。今後はこの事業会計に使われていた分の予算を有効に活用してもらいたい。

【東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計】

ようやく成果が見えてきたところであり、引き続き取り組んでももらいたい。

【東濃西部看護師修学資金貸付事業特別会計】

新病院の建設もあり看護師のさらなる不足が予想される。引き続き取り組んでももらいたい。

【東濃西部地域消費生活相談事業特別会計】

学校への出前講座は子どもが消費者トラブルに巻き込まれることを未然に防ぐという意味で非常に有意義である。今後は高齢者を対象としても予防目的の取り組みを検討してもらいたい。